


## 介護ロボット導入報告書

施設名	老人保健施設養老の郷
施設の種別	介護老人保健施設
住所地	岐阜県養老郡養老町押越 700-1

## 1 導入したロボットについて

ロボット名称	aams 介護セット
介護の種類	見守り
ロボットの写真	<p>aams アダプター写真</p>  <p>センサー部分一覧</p> 

## 2 使用状況

使用状況	<p>ベッドマットレス下にセンサーを設置</p>  <p>※ベッドギャジアップやシーツ交換などでセンサーがずれないように、養生テープにてベッドと固定していますが、センサーの反応上特に問題なく作動しています。</p>
介護ロボットが使用された場面	<p>ケース①看取り対象者 定期的な訪室と並行して使用し、日常的に心拍数・呼吸数を計測することによって、急変にも対応できるようにしました。</p> <p>ケース②転倒リスクの高い利用者 認知症状があり、ナースコールの使用に関しては難しく身体機能が低下した利用者様で転倒のリスクが高い方に使用しました。</p>

## 3 導入によって得られた効果

得られた効果	<p>ケース①看取り対象者 いつ急変するか分からない不安が職員にもありましたが、介護ロボットを使用することで訪室回数が過剰になることもなく、身体的にも精神的にも介護負担が軽減されました。</p> <p>過剰な訪室を行わないことで、利用者様自身・ご家族様もゆったりとした穏やかな時間を過ごして頂けたと思います。</p>
--------	--

	<p>ケース②転倒リスクの高い利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の心身や活動の状態、生活リズムの把握</li> </ul> <p>ベッド臥床時の睡眠状態などの把握ができ、離床時に予測から通知まで知らせてもらえるので、その都度すぐに訪室ができ、ベッドからの転倒、転落を未然に防ぐことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的、精神的負担の軽減</li> </ul> <p>夜間睡眠状態が浅い場合や覚醒されていることが多いことがあり、夜間に深い睡眠が確保できるよう日中はできるだけフロアにて活動的に生活して頂くようにしました。その結果、夜間帯の睡眠が確保でき、職員の訪室する回数も減り手間の軽減にも繋がったと思います。</p>
<p>介護ロボット導入について介護士等の意見</p>	<p>① 看取り対象者に関して、ステーション内でタブレットの画面上で常に呼吸数や心拍数の確認ができる為、頻回に訪室しなくても容態変化と状態の把握ができて良いかと思います。</p> <p>② 新規利用者様だと日中や夜間帯の居室での状態が把握できていない為、介護ロボットを使用し、睡眠状態の把握ができること。また離床時には離床予測や離床の通知を教えてもらえるので、転倒によるリスク回避にも繋がるので良いかと思います。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線 LAN の電波状況により不具合が生じることがある。</li> <li>・少しの体動でも過敏に反応しセンサーが鳴ることがあり、起き上がった後に数秒後に遅れてセンサーが鳴ることもある為、個々の利用者に合わせた細かな数値の設定が必要である。</li> <li>・複数のセンサーの機種を導入している為、機器の性能によって利用者様の状態に合わせて使い分ける必要がある。</li> </ul>

## 4 介護ロボットに関する問い合わせ先

施設名	老人保健施設 養老の郷
電話	0584-33-0510
Email	yourou@giga.ocn.ne.jp
担当者氏名	浅野志帆